



とちぎマイスター「建築大工（大工工事作業）」の技能の例

在来工法の木造建築の伝承

ちょう ひろし
長 博志

足利市 在住

長建築 有限会社 (TEL 0284-43-8862)

木の温かみのある建物造り

(現在の仕事)

木造在来工法の木のぬくもりのある家造りに力を入れて、設計施工から現場監理までを行っている。

また、小中学生のものづくり教室での指導や中学校の職場体験授業の受入れなどの活動も行っている。

(得意な分野)

千鳥破風を施した入母屋造りを得意とし、オリジナルの原寸図により型板を作り、反りのある化粧隅木や垂木を活かし、茅負や化粧野地などを見せる造りの美しさは、高い評価を得ている。長年培ったその優れた技能は、足利市内の八幡宮神楽殿の設計施工をはじめ、社寺の新築、改築等に遺憾なく発揮されている。

ノミやカンナを使った技術を磨く

木造建築の温かみのある家づくりを若い大工に伝承したい。現在はプレカットの建物が多く、造作材も既製品が多い。そのため、墨付や構造材を刻み

加工することが少なくなり、現場でノミやカンナを研ぐ姿は見られなくなった。

建築大工技能の向上には、まずは、ノミ、カンナ、ノコギリなどの道具の使い方や道具の作り方を覚えることが大切である。道具をよく管理すればよい仕事ができる。また、木の性質や特徴を知り、磨き上げた高い技能をもって木造建築の良さを実感できる建物を供給できる職人になってほしい。

